

平成 21 年度 第 1 回子育て・環境・魅力づくり部会

開催日時 平成 21 年 4 月 14 日 (火) 午前 9 時 30 分 ~ 11 時 30 分

会 場 幸区役所プレハブ 2 階会議室

参加委員

専門部会 B 委員：今井部会長、神谷副部会長、石野委員、酒井委員、佐藤委員、庄司委員、
菅野委員、沼田委員、深瀬委員、松脇委員

事務局 (企画課)：渡邊課長、蓬田課長補佐、高相課長補佐、小出主査、齊藤職員、小俣職
員

(地域振興課)：平川課長補佐

議 題 1 マンション居住者の町内会・自治会加入実態調査について

2 子育て・環境・魅力づくり部会の今後の具体的な審議事項について

開会

司会：渡邊課長

開会あいさつ

副区長が行政を代表してあいさつをしました。

職員の異動に伴い、新しく担当となった企画課職員があいさつをしました。

今年度からコンサルタントが、「株式会社シー・エス・ケイ」に変更になったことを伝えました。

会議公開について説明し、了解を得ました。

議事

進行：今井部会長

1 マンション居住者の町内会・自治会加入実態調査について

事務局が (渡邊企画課長) が、配布資料の内容を説明しました。

【配布資料】 マンション (住宅と数 30 戸以上) 居住者の町内会・自治会加入実態調査

幸区区民アンケート調査 概要

神奈川新聞記事 (平成 21 年 4 月 14 日)

(今井部会長) ありがとうございます。何か質問があればお願いします。

(松脇委員) 「幸区区民アンケート調査 概要」9 ページに、幸区区民会議の認知度があります。昨年や一昨年に比べて認知度は上がっているのでしょうか。また、他の 6 区では、このような調査をしたことがありますか。

(事務局) 他の 6 区の情報はわかりません。市でアンケートをしました。その結果が手元にはありませんので、次回資料を出します。幸区区民会議については、平成 19 年 11 月 30 日から 12 月 20 日までに、2,000 世帯を標本とし、28%の回答のあった調査があります。区民会議の事前説明会の資料に添付してありますので自宅で見てください。この中で、同じ内容で聞いています。幸区区民会議について、「知らない」が 59.2%、「あることは知っている」が 26.9%、「知っている」が 10.5%、「良く知っている」が 1.7%と、今回の

回答の方が少しずつ減っています。区民会議を知った情報源では、「市政だより」が83.5%、「町内会・自治会の回覧板」が32.3%、「知人や家族から聞いて」が9.3%です。「知人や家族から聞いて」以外は、20年度の結果の方が下がっています。

(松脇委員) 新しい人が増えてきたから、知らない人の割合が増えていると考えていいでしょうか。一度知ったら次に知らないとは回答しないと思います。

(事務局) 標本の取り方なので、新しく転入した方がこの傾向という風にはここからは読み取れません。

(松脇委員) 知らない人が増えるのは残念ですし、何か考えないといけませんね。

(今井部会長) 一回知った人は知っていますものね。

(佐藤委員) 何年幸区に住んでいるかを調べると、長く住んでいる人と、新しい人の傾向がわかります。

(事務局) 居住年数を聞いているので、居住年数と区民会議のところのデータを合わせて引き出せばわかると思います。この傾向からすると、新しく転入された方は、回答者には少ないです。10月31日現在で住民基本台帳にあてているので、新しく転入された方に何%あたるかはわかりません。新しい方ばかりに回答をもらっているわけではありません。

(今井部会長) 居住年数が浅い人だけ引き出して、その人がどう思っているか、どういうことが課題と思っているのかを集計することはできますね。

(事務局) データ数が少ないと、それが本当の傾向かどうかはわかりません。パイが大きくなるから傾向が読めるので、少ない中でそれが傾向と評価していいかどうか、統計的にOKかどうかはわかりません。

(庄司委員) 少なくとも認知度は上がっていないということですね。幸区版に載せたり、自治会の回覧版で回しているけれど、文章では読んでいても実態としてどんなことをしているのかにつながっていません。見えるようになっていないということでしょう。重大な問題ですから、何とかしないとけません。

(神谷副部会長) 活動があまりにもバラバラと多いせいもあります。区民会議とまちづくり推進委員会、町内会の活動などいろいろあります。いろいろ立ち上がっていて、その間でつながる部分が少ないので、周りにいる人たちがそれを把握できません。

(庄司委員) 違いがわかりません。

(佐藤委員) 区民会議の委員自身が、区民会議そのものについて何なのかを100%理解しているわけではないです。こういうことをする会議だと認識しないとけません。6、7割分かったけれど、後の4割はこれでいいのかなとやりながら思っています。

(松脇委員) 若い人はなおさら分らないと思います。若い人に参加してほしいと言っても、そこがはっきりしないとアクションがとれないです。

(菅野委員) 区民会議は市で言う審議会です。法律的にいう審議会とはどういう位置づけなのか、条例なり国会法上の審議会の位置づけを、事務局にきちんと提起していただきたいです。154,000人の区民の中で、思想や考え方はバラバラでも、法律では一致しないとけません。基本的には、どんな細かいことでも法律で固められているので、法律的な内容はきちんとしておかないとけません。審議会とはどういうものなのか、法律上

のものを出してほしいと思います。

(事務局) 資料を出します。

(今井部会長) 区民会議の認知度は、皆さんとじっくりと話をしないといけないことです。

2 子育て・環境・魅力づくり部会の今後の具体的な審議事項について

事務局(企画課長)が、配布資料「子育て・環境・魅力づくり部会の今後の具体的な審議事項について」の内容を説明し、意見交換をしました。

(今井部会長) 補足説明や確認したいことがあればお願いします。

(菅野委員) 僕の“夢見ヶ崎に校則があるのは問題だ”という意見で、教育委員会から呼ばれました。校則が悪いという形で教育委員会は捉えたようで、誤解をされていました。そういう校則を作らざるを得ない環境にあることが問題だという意味で発言しました。そこをどう解決したらいいか検討すべきです。教育委員会に呼ばれたので説明しましたが、こう書かれると、校則を作っている学校が悪いという感じが出ますので、その点を補足します。

(庄司委員) 本当にその通りだと私も内容を受け止めました。

(今井部会長) その点を修正してください。

(石野委員) 2、3日前に町会長が、大規模マンションの記入シートを持ってこられましたが、どう把握するかが難しいです。町内会に関心をもっていない人を何とかしようということですが、関心を持っていないのだから何ともしようがないし、誰が関心を持っているかわかりません。どう把握したらいいか困っています。

(佐藤委員) 今回の調査は意向調査ではなく実態調査です。地域に300人以上のマンションがあり、町内会の入会状況を見て、この団地は入っていないということを調べればいいでしょう。

(石野委員) 理由らしいものが質問にありましたが、把握しようがありません。

(佐藤委員) 問3と4ですね。

(庄司委員) 問3と4もしたかしないかですから、したらマルをつければ今回はいいでしょう。

(今井部会長) 実態をまず把握することからです。

(庄司委員) 実態を把握できるのは8月以後ですね。集計が出たところでしか話せない部分もあるし、事前に話せる部分もありますね。

(今井部会長) それまで止まっているわけにもいきません。前回の確認でこういう話が出た、前回は発言しなかったけれどこういうことがあるということはありませんか。

(庄司委員) 町内会の魅力を広報する媒体を作るのに、話し合いの場を持つという意見ができましたがどうなりましたか。あれはやりませんか。できてきたらそれを見て、意見を言う機会があってもいいのではないかということでした。ただし、ここでやるのか、別のグループを作ってやるのかわかりません。

(佐藤委員) 地域振興課でそういう本を作っています、そこに実例を入れて、実態調査で入っていないところに配り宣伝をするということではなかったですか。

(地域振興課) ホームページは出来上がっています。冊子は区で作るものはまだ取り掛かっていません。市で作るものはできていますが、それは大雑把なものです。前回の話では、自

治会を立ち上げるにはどうしたらいいかなど、もう少し細かい内容の話だったかと思いません。それは今後作ります。

(神谷副部長) それを見届けるという話でしたね。

(庄司委員) それの主たる審議の内容ではないですが、並行してやれるといいです。

(佐藤委員) そこまでやらないと意味がないです。実態調査だけでは、何のためにやるのかわかりません。管理組合と自治会を作るのに、なぜ管理組合が自治会を作らないといけないのかという意見があり、そこがうまく行きません。自治会を作ったら、管理組合とうまくいかなかった、管理組合だけでいいじゃないかというところも出ているようです。管理組合の役員に、ぜひ自治会を作ってくれと資料に書いて訴えることからスタートしないといけません。

私のところでは、自治会を作らなくてはダメだなということで議論をしました。議論をしたら、地元の町内会に入ろうという意見が出て、総会で入会が決まりスタートしました。管理組合だけでは地域はうまくいかないよ、そうだなと役員が言い始めたのです。管理組合を主体に説得しないと、個々の家庭では手を揚げる人はいません。管理組合の役員が認識を持っていくことが、一番手っ取り早いと思います。

(菅野委員) その点で言うと、東芝が建売で約 50 軒のアパートを作りました。一番問題にしたのは日照権と電波障害です。町中の高さ制限は 20 メートルですが、水槽が 2 メートル高く 22 メートルになったので喧嘩をしました。東芝不動産と鹿島建設を呼びつけて喧嘩をしました。建てるどころと工事会社に、地域に入るという確約をとらせたのです。今あるやつが問題だと思います。これまでに建て入ってないところでは、日照権と電波障害は検討課題ですから、そういう形でできる気がします。

(松脇委員) プラットホームは言葉が難しいです。一つの情報として、まちづくり推進委員会に佐々木さんという方がいて、パークシティの自治会長を務めています。区か町関係の方から依頼があり、加瀬山に新しいマンションができていますが、その人に、どんな苦労があるか、ノウハウがあるかを教えてほしいと言われ、話に行くそうです。こういうことは非常に重要というか、良いことだと思います。そういうのも、一つのプラットホームだと思います。町内会の方が積極的に教えようというのは良いことだと思います。

(神谷副部長) そういう苦労した人たち、ここまでやって来た人たちの意見は、自治会や町内会には入るかもしれないけれど、その後の活動が滞ったり、役員が出ないなど問題が出てくると思うので、参考になりますね。

(酒井委員) 日吉地区では新川崎と新小倉の地名を作る時点から、町会長会議で練っています。建築会社の役員を呼んでやっていますから、そこはスムーズに行くのではないかと思います。

(今井部長) アンケートの 10、11 ページに戻りますが、これからできるところは、建設段階から入ってもらおうとか、これから働きかけて入ってくださいとしたとします。とりあえず、町内会費を払った、加入率が上がったとします。でも、加入してもその方たちが担ってくれない、参加してくれなかったら、会費が集まっただけで終わってしまいませんか。10 ページに「加入しなくても日常生活に支障がない」と 36.7%の人が思っていたら、参

加しない、役員にもならないです。11 ページに、「気軽に参加しやすい組織・活動にすべき」とか、「活動内容をもっと情報公開すべき」などという意見があります。また、下には、「若年層や団塊の世代が地域活動に参加できる仕掛けの充実」とあります。単に数字上、加入率がアップした、町内会費が増えたということだけでは、実質、地域のつながりが増えたことにならないと思います。

(松脇委員) そこで佐々木さんが言っていたのが、活動を担う人材、リーダーの育成が大事だ。これがないと、後に続かないということです。ここはプラットフォームというか、そういう人材をどう育てるかは、NPO か区役所か、あるいはわれわれかも知れないけれど、そういう人材を育てて、各地区にそういう人がいないとなかなか発展していかないのではないかな。プラットフォームの意味は、人材の育成とかそういう人を見つけてバックアップすること一つあります。

(佐藤委員) 活動家を育てることは生易しいものではないです。300 所帯、400 所帯に一人や二人活動家を育ててその人が回りを説得して作るといっても、なかなか変わりません。ただ、意外と心配しなくていいのは、マンションは全員会費を払います。会費を払うと関心を持ちます。役員も何人出してくれと頼むわけです。マンションは若い人が多いです。その人が役員になるので、まちの活性化、運動会、祭りに子供が大勢参加します。PTA の役員ともつながります。今までは遠慮していても、会費を払うことでどうどうと参加し、町会も活気が出ます。金さえ払えばいいという人は少なくなり、会費を払ったらどれだけのことをやってくれるのだと変わってきます。ですから、何かしないといけなくなるので、怖いです。

(神谷副部会長) そういうところで、こども会も若い人が活動に参加してくれるように、上の人が受け入れ態勢を心の中に持っているのと、若い人は活動に参加してきます。こども会費を払えば、その分参加します。

(酒井委員) 町会があり、老人会、青年会、こども会があります。まず、理解がある町会長だと、新しい人を吸い上げます。来るとやる気が出てきます。いかに町会の役員が吸い上げるかです。古い考えを現在に合わせるように考えてほしいです。そうすると伸びます。それがが必要です。

(今井部会長) 会費を払うことがきっかけで若い人が参加する面が出ているということですね。それをうまく吸い上げると、その人たちが育っていくという意見ですね。

(佐藤委員) 役員を何人と、団地の居住者の数によって出させます。管理組合であいさつしろと言ったら、「わかりました、こんなに皆さんがやるなら来年は役員を増やしますと」、入って実態を見るといろいろと言ってくれます。

(今井部会長) そういう動きがあることはいいですね。

検討事項を絞り込み、次回に向けたいと思います。今まで引き続きやってきて、ホームページを事務局で作り、冊子も今後作り、実態調査もします。この部会で、どういう方向で進んでいくのか、分散しているのでこういうことに焦点を当てて話し合いましょうと絞りたいです。成果はあったと思います。加入促進の役員向けの冊子を作る、一般向けの冊子を作る、ホームページをつくる、実態調査をするといったことは進んでいきます。

(庄司委員) 町内会の加入を拡大しようと話し合いをし、そういう方向で進んでいます。それを側面から応援する。審議事項の2にあります。魅力をもっと発信する。例えば町内会のお祭りでこんなことをしているよとか、加瀬山の魅力、幸区で一番有名でみんなが知っている動物園のことなど、魅力を発信し地域への愛着を深めることが、地域コミュニティづくりの側面からの応援になると思います。それは地道な活動で時間がかかりますが、それをやらないと相互にコミュニティが進んでいきません。加瀬山に行っても、幸区の住民なんだということにつながる形にならないとダメだと思います。地域地域の良さがありません。私は古市場や幸町の方を良く知りません。川崎駅に行く機会がないので、良さが良くわかりません。話を聞くと、こんなところがあるんだと、発見することがあります。地元の人しか知らない魅力を発信できると、町内会の動きとも連動します。いろいろな活動をしている方を交え、プラットホームとして新たな組織を作ると、何が何やらわからないことになりがちなので、連携をとれるような動きを作れないものかと思います。

(神谷副部長) プラットホームの連携ですが、日吉では連携が取れていたのが、新しい住民の動きがスムーズにいくようになりました。日吉出張所が働きかけて町内会長などが集まったので、やはり区役所の役割は大きいと思います。町連の仕事もたくさんあり大変でしょうが、それをつなげるのは、区役所や出張所の役割でもあると思います。

(酒井委員) 日吉地区は17町会あります。今回副区長になられた森下氏が一生懸命やっています。月に一回必ず町会長会議があります。各地の問題を出して、意見をまとめ、町連会長がやってくれています。

(今井部長) 庄司委員の話にありました、地域の魅力を新しく越してきた方にも知ってもらうことは必要だと思います。私も、越してきて緑道を見たときは感心しました。加瀬山もすごいと思います。そういうことを知らせる、知ってもらうことも必要です。緑が少ないと最初は思ったんですが、すごいですね。

(佐藤委員) まちづくり推進委員会で、緑や地域の特徴ある問題をやっています。先日パネル展示をしていましたが、もっとオープンにしていけば大変な資料だと思います。区民会議のフォーラムもお客さんが少ないし、まちづくり推進委員会の報告会も少ないです。一生懸命やっているのに、市民の関心をどう結びつけるか、中身がいいのに一部の人で終わるのがもったいないです。

(今井部長) こういうのがありますよとお知らせしますが、行事が多すぎてチラシを配布されても混乱します。3月は集中しすぎということもありますが、いろいろなところで開催するものを連携してできないのかと思いました。

(松脇委員) 区として一日にまとめ、午前は区民会議、午後はまちづくりなど市民が選べるようにしないと、土曜日のたびに出かけるのは大変です。その方が市民も行きやすいです。

(神谷副部長) 先日、中原区の「さくらフェスタ」に行きました。平和公園をメイン会場に、自治会館や富士通などいろいろなところでやっていて、人もものすごい人数が集まっていました。町連、商店街も一緒になると選んで行けます。

(松脇委員) 幸区を良くしよう、緑を良くしよう、コミュニティを広げようという目的は一緒だと思います。目的が一緒なら一日に同時にやってもおかしくはないので、来る人も来や

すいと思います。

(今井部会長) 区民祭は来やすいですね。そこに行くと魅力がわかったというようなものはないでしょうか。

(酒井委員) 行政が準備から人数集めから片付けから大変だと思います。

(今井部会長) フォーラムでお金もかかるし、時間もかかります。あちこちで言われても行きません。行事が多すぎます。連携していい形になるといいです。写真展などいろいろやっていますが、表へ出ていません。やってはいますが、行きわたらないです。

(庄司委員) 「さくらフェスタ」には、楽しみながら人は来ます。幸区で一番のシンボルは加瀬山だと思います。加瀬山で何かをする、お祭りで桜がきれいな時期にする。区民会議はこういうことをしているんだと見える形にしないとダメですね。

(今井部会長) 加瀬山はいいと思うし、何とかしないとダメだと思います。ただ、交通の便が悪く、行きたいけど行きません。坂道で高齢者や乳母車を押しでは行きません。バスの便がありません。

(酒井委員) 南武線の踏み切りの混み具合がすごいです。

(今井部会長) 細かいことは抜きにして、地域の資源である加瀬山を中心に連携し、イベントができないかということがあっていいですね。

(佐藤委員) 加瀬山祭りがありませんね。

(神谷副部会長) 日吉まつりはなくなりました。今度、上に上るのではなく、下に降りて、パイオニアのところでやります。

(深瀬委員) 商連でやります。上ってくるのが大変なので下でやります。

(今井部会長) 新川崎地区でイベントをして、そこからマイクロバスを出すなど、皆で知恵を出せるといいです。

(神谷副部会長) 雪まつりは駐車場があったおかげでいろいろなところから人が来ました。

(今井部会長) 乳母車や高齢者向けに巡回バスで送迎を付けるなど、知恵を出すといいです。

(深瀬委員) 雪まつりのときはどうしていましたか。

(佐藤委員) 新聞社に全部出しました。東京新聞はチラシをつくり、各新聞には投げ込みました。ニュースは昼頃に出ました。NHK は、新潟と川崎が防災協定を結び助け合いました。ということで新潟支局が来て話を聞き、本社が行けということでニュースになりました。

(神谷副部会長) 私は連絡委員でしたが、どうやって行けばいいかという電話が携帯にたくさん入りました。子供たちを連れていくには大変だ、駐車場もありますと言ったら、それなら行けるということでした。

(深瀬委員) 雪という意外性で集めました。日吉まつりをしますが、ひとを集めるにはどうすればいいのかわからない。報道は後からのようで、雪まつりは4回目ですね。日吉まつりに来てもらうための情報をどう流したのかなと思います。

(今井部会長) 一番いいのはテレビです。次は新聞だと思います。なぜ来たのかがポイントです。たくさん情報があると取上げてもらえません。雪が良かったです。

(神谷副部会長) 幸区全部の学校、こども会に配りました。

(酒井委員) 地震の時に応援したみたいです。それがきっかけで新潟としても何かしようとい

うことでした。

(佐藤委員) 始めたのは肉屋さんが山越村の出身で、その人が金は自分が出すからやれということでした。場所は市が貸すというので、一回目をやってみました。最初やったら1,000人くらいの子供たちが来ました。その時の趣旨は、川崎市から世話になったので恩返しをしたいということでスタートしました。それが訴えとして良かったです。

(今井部会長) アピール力です。

(佐藤委員) それが続いて来て、4回目の時は3回目が終わった次の日に会長が亡くなってしまいました。それが新聞のネタになって、4回目は2,000人近くが来ました。

(庄司委員) ストーリーがあるのが良いです。

(今井部会長) 商店街の祭りがありませんと投げ込みしても無理です。他が取り組んでないような新しい企画をしないと無理だと思います。

(松脇委員) まちづくりフォーラムは、参加者が少なかったので反省しました。町内会にチラシを貼りました。次回は、巡回車を回すとみんなに聞こえるので違うと思います。チラシは一人ひとりです。500枚のビラを配りあれだけの人数では反省があります。

(今井部会長) 巡回車は朝からうるさいという逆効果もあります。新聞は何社かっていますが、折込みがたくさん来るので、チラシは断っています。捨てるのが大変です。

(松脇委員) 区長さんが車に乗って回ってくると、違うのではないかと思います。

(佐藤委員) 日吉まつりは夢見ヶ崎動物園を下に持ってきてはどうか。

(深瀬委員) 出張動物園はやります。雪まつりは、雪にはなかなか接しられないし、インパクトがありました。日吉まつりに人を集めるにはどうしたらいいのでしょうか。

(庄司委員) 何を訴えるのかです。どこと連携するかとかでしょう。

(今井部会長) 川崎区では、商店街の祭りを「連連連」と言ってやっています。つながったことで、広報宣伝が一気にできるので、バラバラにやるよりも連携した方がいいと思います。

(佐藤委員) 日吉まつりという名前が良くないです。日吉地区以外の人には行ってはいけないと思います。加瀬山でやっても日吉まつりと言います。加瀬山まつりなどにしないと、行ってはいけないと思います。夢見ヶ崎まつりなど、幸区全体のまつりにすれば、気軽に行けます。

(深瀬委員) 自分たちは日吉を使った方がいいと思っていますが、逆から言えばそういうものもありますね。

(今井部会長) 日吉フェスタもありますね。日吉まつりと聞いて、どう違うのかと思いました。

(深瀬委員) 昨年は日吉まつりをフェスタに変えました。一昨年までは町連が主体でやり、一昨年からは町連がはずれて商店街だけでやるので、昼間一日にし、名前をフェスタに変えました。

(庄司委員) 一緒にやって、あっちに行っても、こっちに行っても、やっているように回遊性があると良いです。

(神谷副部会長) 私は古市場の方には行ったことがないのでわからなかったです。地元の子も会で良い芸能をやっているなどあるんですね。

(今井部会長) 一日だけマイクロバスで循環し、古市場から巡回させると面白いですね。オリ

エント観光に協力してもらおうとできるでしょう。自由に乗り降りできるようにし、幸区内の良いところを見て回れるといいです。

(庄司委員) 先日、鹿島田を桜の時期にウォーキングをしました。知らないところが一杯あって、面白かったです。

(今井部会長) 南河原公園など、いいところがたくさんありますね。

(庄司委員) キーワードは連携ですね。

(今井部会長) 魅力を発信するようなアンケート調査、ホームページは進みます。側面的な魅力を知ってもらう応援ということで、何かできないかという話をしています。今の盛り上がりでは、連携して何かができるといいよねという話になっています。

(佐藤委員) 幸区民祭には日吉からは遠いので来ないと言っていました。日吉地区には日吉まつりに金を出していると言われましたが、今年からはそれがなくなります。

(事務局) 昨年度は、区民祭関連事業ということで冠がついていました。

(佐藤委員) 区民祭を区役所でやるなら、加瀬山区民祭として日吉地区でもう一つをやればいいです。動物公園は川崎市に一つしかないの、大切にしないとけないです。エスカレータをつけると思ったら反対されたからやめました。

(菅野委員) エスカレータで上って、幼稚園に滑り台で降りると昔言ったことがあります。

(佐藤委員) 出張所の駐車場から上げたら短いいいです。

(菅野委員) 福島県会津の飯森山のようにするといいです。了源寺の裏に市立の公園があり、市の敷地があります。

(庄司委員) エレベータの方が車椅子も登れていいですね。

(神谷副部会長) 降りるのも大変なんです。

(佐藤委員) エレベータならいいじゃないですか。

(神谷副部会長) 川崎駅にエレベータができて年寄りは大変喜んでいます。全部ではなくても、エレベータである程度まで行けたらよいです。

(菅野委員) 問題は、民有地と公有地が入り混じっているのが難しいです。道を通すのにも難しい部分があります。公有地だけを使うのは、容易ではありません。日吉小学校の公園しか市有地がないです。

(佐藤委員) 借りればいいでしょう。

(今井部会長) 幸区の資源でもありますが、川崎市の資源でもありますから、市からもお金を出してもらおう。

(深瀬委員) 大きなインパクトがあると人は来ます。いつも問題になるのは、上るのが嫌だということです。

(佐藤委員) 行くと動物もいるし、人もいます。あのままでは廃れてしまいます。

(庄司委員) 動物園の方がとった写真展がありましたが面白くて、広くいろいろなところで開催してほしいと思いました。

(今井部会長) 普通の人撮ると檻が写ります。園長さんが辞めるときに、飼育係でないと撮れない写真をいただいたので、さいわいコミュニティサイトに掲載しています。動物公園は何とかしていかないとけないです。

- (神谷副部長) 上ることを考えると面白いです。ただで動物が見られるのは不思議ですね。
- (今井部長) ただのところがいいです。有料では親子で行くと大変です。
- (松脇委員) 花壇もきれいです。
- (深瀬委員) 花壇には、木を伐採してお金かけました。
- (今井部長) 近所の方が体操をしています。
- (庄司委員) 日中は親子がピクニック気分で無料で遊べるのが良いです。
- (佐藤委員) 草食動物園は珍しいそうです。特徴があるので、大切にしてもらいたいです。
- (菅野委員) 花壇のところを前方後円墳をつくれという提案もありました。
- (沼田委員) レッサーパンダのことがニュースに乗っていたら、板橋の親戚が来たいと言っていました。
- (菅野委員) そういうのが市の情報には書いてないです。ペンギンの嘴に人工嘴があるのは夢見ヶ崎だけです。人工の嘴は世界で一つです。
- (今井部長) 幸区の魅力、こんなにいいところだよとできるといいですね。
- (松脇委員) 町内会を増やすにもつながりが重要です。人がお互いに知って、場を作ることが大事です。加瀬山というテーマでつながれると、PTAの人、老人会など、いろいろな人と知り合えます。コミュニティを作っていく、それが区民会議の役割です。顔見知りになるには、でかいテーマでないと難しいので、加瀬山を一つのターゲットにするのはいいです。
- (佐藤委員) 幸区民に、加瀬山動物園に行ったことがあるか調べるといいです。川崎市に一つしかない動物園を、幸区の人には意外に冷たいなと思います。
- (庄司委員) 小学校の遠足で行っているでしょう。
- (沼田委員) 幼稚園で行ったり、小学校も上になると、三ツ池まで行きます。
- (菅野委員) バス停は夢見ヶ崎動物園は一つしかないです。北加瀬の一丁目、二丁目にはついていません。バス停を降りても地図があるわけではなく、天照皇大宮まで上っていけるけれど、地図も標識もありません。そういうところから変えていかないと行けません。
- (今井部長) よそから来た人にも不親切ですし、失礼ですね。
- (沼田委員) お寺などに土地が取られて狭いです。動物も小さい動物しか飼えません。
- (佐藤委員) いつ行っても人がいっぱいだとすれば、変わるでしょう。
- (沼田委員) 普段の昼間はガラガラですが、花見のときには歩いて登れないくらいに人がいました。
- (今井部長) イベントをしてアピールし、それをきっかけに人が集まり、コミュニティができるということですね。
- (沼田委員) バスの意見はどうなったのですか。
- (今井部長) ローターが小さすぎて普通のバスは無理です。
- (佐藤委員) まつりや桜の時期など、行事の時は出せると言っています。
- (事務局) この前の桜のときには、車が渋滞していて上がれないです。
- (沼田委員) Uターンもできないし、すれ違いもきつい状態です。
- (佐藤委員) 桜まつりでも、車が登れるのですか。
- (事務局) 3月は上っていました。駐車場がすぐ満杯になります。

(神谷副部会長) 新川崎の方から上がるきちんとした道はないですね。

(菅野委員) 日吉小学校の脇を通る道はあります。

(神谷副部会長) 新川崎に駐車場を確保することはできないのですか。きちんとした道ですか？

(菅野委員) 車が一台通れる程度の細い道です。

(事務局) 区長が来ましたので、あいさつをお願いします。

(幸区長) 4月1日から着任しました、本木と申します。地域コミュニティの問題については、川崎市も140万人を突破しました。京都、福岡に続く8番目です。京都、福岡は若干減少していますので、後2、3年で、二つくらい順番が上がるかと思えます。政令指定都市の中で人口増価率はナンバー1です。幸区の場合は、定住率が高く、地域の活動も活発ですが、新しい方が大規模マンションに入って来ますので、従来の活動に加えて、新しい方がどんな形で地域の活動に入ってもらうかが大きな課題です。私どもはお願いはできますが、活動するという意味では、私どもだけではなかなかできません。皆様のご理解、ご支援をいただきながら、従来住んでいる方と、新しく転居して来た方が。幸区に来て良かったと言える区にしたいと思えますので、引き続きご支援をよろしくお願いします。

(今井部会長) 若い方、転入した人にとって、夢見ヶ崎動物公園の動物や緑など周辺の環境はいいと思います。そこで触れ合うことで、新たな出会いが生まれます。いろいろな団体で協力し、交通の便など細かいことがあります。皆で知恵を出して協力すれば、できそうな気がします。お金は行政に出してもらって。モデル的に焦点を加瀬山周辺にあてて、コミュニティの場を設けてみましょうということでもいいですか。その時に周辺の商店街も協力する。合わせてそれ用のお弁当を出すなどできるといいのではないのでしょうか。

(菅野委員) 7年前の区民祭のときに二日間無料のバスを回しました。二日で400万円かかりました。バスを8台用意しました。

(沼田委員) 午前中に込んだくらいで、日中はガラガラでした。日吉のから2コースです。

(今井部会長) 30人乗りのマイクロバスで20,000円とか30,000円でした。

(菅野委員) 各バス停にアルバイトの人を置いてアンケートをするなどを含めてです。路線バスでやりました。

(神谷副部会長) 100円を取るなど、完全にただにする必要はないと思います。

(今井部会長) 地元にオリエンタル観光もあるので、お願いして協力できないかというのもひとつの手です。それも地域貢献です。

(菅野委員) 事前にアンケートをとって、乗るという回答が多かったところは乗らなかったです。乗らないという回答があった方が乗りました。アンケートの結果がそのまま反映するとは限りません。

(沼田委員) ゴルフ場上がる道がありますね。あそこにエスカレータを作ってもよいです。

(佐藤委員) 実態調査をしましょう。

(今井部会長) 区民会議の皆さんで下見をしましょう。

(神谷副部会長) 勉強会も悪くないです。

(沼田委員) 青山さんが言っていた、昔からの歴史のものが置いてあるのはどこですか。

(神谷副部会長) 壺は国立博物館です。

- (菅野委員) 慶応大学の所有です。
- (沼田委員) 穴が空いていて、見学できるところがあるのではないですか。
- (庄司委員) 三号古墳です。それは今もあります。
- (菅野委員) 三号古墳から天照皇大宮に行くところは、ささやかながら森林浴の雰囲気があります。
- (今井部会長) 私も含めて周辺を理解していないので、詳しい方に説明していただくと同時に、見学に行きましょう。
- (庄司委員) 日吉郷土史会の方が歴史のことは説明してくれます。
- (菅野委員) 加瀬山の会など、6つの会があります。僕が市民館の地域セミナーで歴史を説明しました。古墳が一番残っているのは、了源寺横の第6です。第8は完全になくなりました。天照皇大宮の第7には、まだ石棺があります。
- (庄司委員) 今ここで踏ん張らないと、もったいないことです。
- (今井部会長) 日程調整をしていける方だけでも天気の良い日に行きましょう。
- (菅野委員) 北加瀬一丁目の山崎からもいいですね。
- (庄司委員) もう一つの部会にも声をかけましょう。動物園長が変わりましたね。動物を紹介してもらおうと楽しみ方も深まると思います。
- (今井部会長) 地主、企業、商店主、幸区の皆があそこを守っていこうとなれば、知恵が湧いて来ます。
- (石野委員) 古市場の方から行くには自転車になります。下をそのまま行けるよう、駐輪場、駐車場を作れば楽です。新川崎だけが下を通れるようになっていて、そこを越すとまた上に行き、自転車で越すのが大変です。下からいければ、古市場からも大勢行きます。
- (今井部会長) 河原町の人、行きたいけれども交通の便が悪いので行けません。
- (石野委員) 鉄道を越すのが大変です。
- (佐藤委員) 幸区の区町連で南武線の立体化を署名運動をして提言し採択しました。昨年調査費が付き、やっと軌道に乗ってきました。調査から買収など7年は最低かかります。まちの人の声が、一部の人だけが言ってもだめです。いくら言っても、幸区は南武線の方を向いてないじゃないかとなります。中原区はまちが動きました。
- (今井部会長) 時間になりました。とりあえず、行ける人だけでも、AB両部会に声をかけて、加瀬山周辺の現地調査をしましょう。周辺に食事をしたりお茶をするところがないですね。商店街にも頑張ってもらわないと、市外や区外から来た人が利用する店がないのも問題です。川崎大師も、あれだけ人が来てそのまま帰ってしまうので、周辺の商店街で問題になっています。
- (菅野委員) 夢見ヶ崎商店街で20年くらい前に立派な方針を作りました。探していますが見つからないので、もしあったら、貸してください。

次回日程

- ・5月15日(金) 午前中に開催
- ・加瀬山周辺を視察後、日吉出張所会議室で意見交換